

# 山びこ

YAMABIKO

2024  
(令和6年)

10月号



東葛山の会

No. 563

10月・11月 予定表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1  
 9月例会出席者・8月山行実績・山行コメント・・・・・・・・・・2～4  
 山行案内（10月・11月・12月）・・・・・・・・・・・・・・・・・・5～8  
 山行報告  
 ・穂高連峰「ジャンダルム」登攀（富永）・・・・・・・・・・9～10  
 ・トムラウシ山・十勝岳・大雪山（旭岳）（河野）・・・・・・・・11～13  
 ・白山（河野）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14～15  
 ・西穂高岳ソロテント泊（岡田）・・・・・・・・・・・・・・・・・・16～18  
 ・石尊山（桐生）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・19  
 ・大雪山・赤岳 2078m・黒岳 1984m・藻岩山 531m（江崎）・・・・20  
 ・流山ウォーキング（鈴木）・・・・・・・・・・・・・・・・・・21  
 ・流山ウォーキング（前田節）・・・・・・・・・・・・・・・・・・22  
 ・「JWAF フェスinみずがき」に参加して（間瀬）・・・・・・・・・・23  
 短歌 猛暑日に流山を歩く（羽鳥）・・・・・・・・・・・・・・・・・・24  
 思い出の山（嶋本）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・25  
 ちょっと一言（梅田、山脇）・・・・・・・・・・・・・・・・・・26～27

表紙写真紹介

2022年10月の会山行で「安達太良山」に行きました。  
 紅葉の時期とあって、ロープウェイは長蛇の列でした。山頂駅からは見事に色づいた木々の中を進み、安達太良山頂も大混雑でした。下山道も赤、黄、オレンジ等の紅葉の中、歓声をあげたり、写真を撮ったりして楽しみました。なんと言ってもお天気に恵まれたので、青空と紅葉のとおきのおきの一枚が撮れました。この時の宿泊は「岳温泉」の「鏡が池碧山亭」でした。二日目は近場のウォーキングが出来るので手軽に行ける山の一つだと思います。  
 ～～五十嵐朝子～～

会報部からのお願い <表紙写真>

11月号は四元一成さん、12月号は江崎昌子さんです。  
 その際、100字程度の紹介文を添えて、前月20日までに、会報部（清水）へ提出してくださるようお願いいたします。

## 10月11月予定表

	曜日	10月	日	曜日	11月
1	火		1	金	
2	水	山行部会 (18:00~20:00)	2	土	
3	木		3	日	文化の日
4	金		4	月	振替休日
5	土		5	火	
6	日		6	水	山行部会 (18:00~)
7	月		7	木	
8	火		8	金	
9	水	} 那須連山縦走	9	土	大楠山
10	木		10	日	例会 (14時~16時) 東初富公民館
11	金		11	月	
12	土		12	火	
13	日	例会 (14:00~16:00)	13	水	
14	月	スポーツの日	14	木	
15	火		15	金	
16	水	運営委員会	16	土	県連 (事故防止経験交流集会)
17	木		17	日	
18	金	} 韓国ハイキング(県連) 手賀沼ウォーキング	18	月	
19	土		19	火	
20	日		20	水	
21	月		21	木	
22	火		22	金	加治丘陵 (雨天時11/24)
23	水		23	土	勤労感謝の日
24	木		24	日	
25	金		25	月	
26	土		26	火	編集会議 学3
27	日		27	水	
28	月	編集会議 (10:00~12:00)	28	木	
29	火		29	金	
30	水		30	土	御岩山・神峰山
31	木				

### 12月山行予定

★12/15 (日) ~12/16 (月) 鶏頂山 (忘年山行)

# 例会報告

9月例会出席者

2014/9/8

44名

司会 笹、

手塚、安彦、松本、加藤、岡部、桐生、村上、八巻、小林、伏見、前田延、山岡、村田、五十嵐、四元、江崎、三橋、鈴木、嶋本、猪狩、羽鳥、井上勝、山脇、梅田、前田節、赤塚、菅谷、山口、蓮見、菅原、清水、畑中真、笹、柳、岡登、伊藤、富永、熊谷、吉留と、吉留政、西堀、池谷、河野、畑中桂、

## 2024年8月山行報告

月	山名	ジャンル	月日	山行区分	人数	参加者
1	トムラウシ山、大雪山、十勝岳 (たいせつざん・とかちだけ)	縦	8/1~6	個	1	河野
2	立山(たてやま)連山縦走	縦	8/2~4	個	1	岡田 (都岳連マウンテンスクール)
3	三つ峠山(みつとげやま)	ハ	8/4	個	2	清水、蓮見
4	蝶ヶ岳	ハ	8/7~10	個	1	岡田 (小林美智子山岳看護師事務所 テント泊講習会)
5	飯盛山(めしもりやま)	ハ	8/8~9	個	6	桐生、小林、伏見、五十嵐、菊池、間瀬
6	難台山(なんだいさん)	ハ	8/9	個	3	安田、江崎、菅谷
7	御岳山(みたけさん)	ハ	8/11	個	2	石塚、金子
8	槍ヶ岳(やりがたけ) 北鎌尾根(きたかまおね)	岩	8/11~15	個	1	熊谷 (登山教室実践山行) 他7名(講師、アシスタント、他参加者5名)
9	白山(はくさん)	ハ	8/16~18	個	1	河野 他1名
10	玉原高原(たんばらこうげん) (玉原湿原&尼が禿山)下見	ハ	8/18~19	県	1	羽鳥 他3名(県連ハイキング委員会)
11	上高地(かみこうち)	ハ	8/22~23	個	1	菅谷
12	北八ヶ岳(きたやつがたけ) 天狗岳(てんぐだけ)	ハ	8/25~26	個	1	熊谷 他1名
13	北アルプス穂高連峰 北アルプス穂高連峰、 奥穂高岳 ジャンダルム	縦	8/29~31	個	1	富永 他1名(ガイド稲越利夫) (ガイド山行)

8月の会山行「三つ峠山」は天候不順(猛暑)により中止にしました。


古…古道 ハ…ハイキング ウ…ウオーキング  
沢…沢登り 縦…縦走 岩…岩登り 雪…雪山、スキー

 【宝篋山】 嶋本 9/6 (金)

極楽寺コース往復

7:45 駐車場ー10:15 頂上ー11:30 駐車場

お天気は良かったのですが、残暑厳しい一日で汗ビッシヨリになりました。山はクズが繁殖して花を咲かせ、萩の花も咲きだしました。まだまだ猛暑ですが、秋の訪れを感じました。

 【唐松岳・五竜岳】 金子 9/11 (水) ~13 (金)

全般的に天候はずっとガスガス。唐松、五竜岳、登頂していない。

でもガスの湿度のおかげ？すれ違いの方が教えて下さった、ゆったり歩く雷鳥3羽に出会えた。私は初めて。

ガスで眺望は無いが花の名前を石塚さんに聞きながら稜線歩きも楽しめた。

雲を見下ろしながらも歩けた。

1 日目は八方から唐松山荘泊。水不足で 500ml 500 円! ビール 800 円!


夜中 激しい風雨。朝のご来光と雲海に感動してから出発。

2 日目は五竜山荘泊。五竜山荘は 500ml 300 円。夕食のカレーは既によそってあり食べきれず申し訳なかった。

ラスト 3 日目の遠見尾根は長い長い下り。

最後、地蔵の頭からゴールのアルプス平への道に少し迷った。リフト乗り場と間違え、ゴンドラのある所までが地味に長かった。

が、高山植物園を通り、季節によっては様々な高山植物が楽しめそうだった。

 【燕岳】 岡田 9/14 (土) ~16 (月)

14 日 6:30 新宿発。3 連休の初日だったため中央道が大渋滞で 16 時頃に中房温泉に到着する。宿泊先は秘湯を守る会の宿で長年泊ってみたかったところだった。着いてすぐ温泉巡りをする。山小屋ではないので消灯時間はなく 22 時過ぎに寝る。

15 日 7:00 朝食 8:00 出発 11:30 合戦小屋でスイカを食べる 小雨が降ってきたので雨具上下を着る 13:30 燕山荘到着 雨のため山頂まで行かず 14:30 ケーキセット (モンブランとコーヒー) を食べる 17:50 夕食 支配人の講話とホルン演奏 21:00 消灯

16日 4:50 朝食 5:30 燕岳へ出発 美しい日の出を見る 5:50 燕岳登頂 会いたかったイルカとメガネ岩と山荘名物の山男に会えました(大満足!) 7:00 下山スタート 10:30 下山 帰りはしゃくなげの湯に寄る

6年ぶりの燕岳と燕山荘で2度目でした。前泊の中房温泉でのんびりしたり、朝日と富士山と槍ヶ岳の眺望が3日目の朝に見られたり、奇石を楽しんだり、ケーキセットを愉しんだり、支配人の人生観から観る登山者へのメッセージの講話やホルン演奏が聞けたりと、楽しい3日間になりました。

燕山荘、前回も今回も雨の中での到着、お疲れ様でした、と温かく迎えてくれたり、今回もスタッフ1人1人が皆さんとても気持ちの良い接客をされていて、他のお客さん達も皆さん口を揃えて燕山荘の教育の良さに感銘を受けていました。

前はトイレの嫌な消毒臭が気になったが、今回は嫌な消毒臭はなく水洗に変わっていた。最先端の山小屋にいる自覚と意識と行動が随所に感じられました。



# 山行案内

## 10月の山行予定

### \*那須連山縦走 きつい山・(体☆☆☆)

日時： 10月9日(水)～10月10日(木)

担当：(CL)岡田、(SL)清水・江崎・熊谷

### \*手賀沼遊歩道ウォーキング 全会員対象 (体☆)

日時： 10月19日(土) 雨天中止 17日(木) メールにて連絡

担当：(CL)伊藤、(SL)山岡・八巻・村上

## 11月の山行予定

### \*大楠山(おおぐすやま、△241m) ウォーキング ゆるい山(全会員対象)(体☆)

三浦半島の最高峰、秋の前田川遊歩道、三浦按針夫妻墓碑

日時：11月9日(土) JR 逗子駅 8:40 集合 雨天中止

日程

往路：①新鎌ヶ谷 6:50→7:03 船橋 7:11→8:37 JR 逗子

②新鎌ヶ谷 6:41→6:49 船橋 6:57→8:25 逗子

バス 8:50 逗子駅発→前田橋 9:13

復路：JR 田浦駅→14:00 頃

コース：登山口：9:20—(70分) 大楠山—(60分) 池上6丁目バス停—(45分)

塚山公園—(50分)—JR 田浦駅

歩行時間約4時間

【歩程】：累計標高差又は標高差 ・登り(414m)、下り(395m)

交通費概算：約3500円

その他：昼食：1食 下見10/26頃の予定

担当：(CL)手塚、(SL)松本・山脇・前田延

### \*加治丘陵(かじきゅうりょう) ゆるい山(全会員対象)(体☆☆)

駅～駅のハイク 紅葉の中のミニハイク

日時： 11月22日(金) 雨天の場合 11月24日(日)

集合 西武線：仏子駅 8:30 解散：元加治駅

往路： 新鎌ヶ谷 6:01—6:19 松戸 6:26—6:42 日暮里 6:50—7:04 池袋

西武池袋 7:36—8:25 仏子駅

復 路：西武線 元加治駅 14：08、14：27

コース：仏子駅…60 阿須山…0.20 桜山展望台…0.15 愛宕神社…0.20 八幡神社…0.20 金子神社…0.20 アンテナ…0.15 ハイキングコース入口…0.20 あげぼの子供の森公園…0.30 元加治駅

歩行時間 約4時間 + 休憩

【歩程】：累計標高差又は標高差 ・登り (239m)、下り (239m) ・  
山の特徴 (危険)：低山ながらアップダウンと展望、メタセコイヤの紅葉  
エスケープルート：なし

交通費概算：約2700～3000 円

交通費詳細：電車のみ

その他：昼食：1・入浴：なし

下見を10月に予定しています。詳細は11月の例会で発表出来ると思います。

担 当：(CL) 五十嵐、(SL) 蓮見・梅田・伊藤

### \*御岩山 (おいわさん)、神峰山 (かみねさん) (ややきつい～ふつうの山・体☆☆)

日立市の背後の山を歩く。宇宙からも光の柱が見えたというパワースポットを訪ねた後、海に見える陽だまりハイク。

日 時 11月30日 (土) 集合 6:10 JR 柏駅 中央改札外

雨天中止 連絡は 28日 (木) メールで

交 通

往 路：鎌ヶ谷(5:48)→(6:08) 柏駅(6:18)→(6:23) 我孫子駅(6:26)→(8:31) 日立駅  
(8:40)バス→(9:08)御岩神社

復 路：神峰公園(15:35-15:40)→バス(時間によって) タクシ→日立駅(16:00-  
16:11)→柏駅(18:41)

コース 御岩神社(9:20-9:50)…御岩山(10:25)…神峰山(11:50-12:45)…羽黒山(13:50)  
…蛇塚(14:30) …鞍掛山(14:50)…神峰公園(15:35)

行動時間 5時間50分 (休憩・昼食含む)。御岩山まで登り、後は下り

【歩程】標高差 ・登り (790m、4.5時間)、下り (900m、3時間)

概算費用：交通費概算：3500円位

JR 柏～日立 2772円 (往復乗車券、ジパング割) (ときわ路パスも使える)

バス：日立～御岩神社 610円 神峰公園口～日立 200円

茨城交通 Suica は使えない 小銭を用意】

山行部会コメント：日立駅前に銭湯あり 300円

その他：昼食・1

\* 特に危険箇所はないが、距離が長い。夕方は寒くなるので防寒用意。

担 当：(CL) 菅谷、(SL) 間瀬、畑中



## 12月の山行予定 ＜2024 忘年山行＞

### 塩原温泉： 鶏頂山&塩原自然歩道 ☆★

忘年山行の原点に戻り、『秘湯に泊り雪上ハイクを楽しむ』山行を企画しました。

この1年を振り返るとともに、新たな年の山歩きに思いを馳せましょう！

日程：2024年12月15日（日）～16日（月）＜1泊2日＞

宿泊：『明賀屋本館』 栃木県那須塩原市塩原 353 ☎ 0287-32-2831

宿泊料金：13,900円（1泊2食付、消費税・入湯税含む）3人/1部屋（和室）

集合：12月15日（日）午前6時 鎌ヶ谷市総合福祉センター（市役所裏）

交通：鎌ヶ谷観光バス有限会社 大型観光バス（正座席45、補助椅子5）利用

① 往路：12月15日（日） 集合次第出発

福祉センター6:00⇒関宿（ピックアップ）⇒幸手IC⇒＜圏央道・東北道＞

⇒那須塩原IC⇒10:50 鶏頂山登山口（雪上ハイキング）15:50⇒明賀屋本館（泊）

② 復路：12月16日（月）

明賀屋本館 13:30⇒みかえりの郷 彩花の湯（入浴・昼食）⇒那須塩原IC

⇒＜東北道・圏央道＞⇒幸手IC⇒関宿⇒鎌ヶ谷市総合福祉センター20:00 着予定

ハイク：（12/15）鶏頂山往復 歩行時間：約5時間（休憩含む）、約7.5km

登山口（大鳥居 1295m）…鶏頂山 1765m…登山口

（12/16）塩原自然歩道ウォーキング歩行時間：約4時間30分（休憩含む）、約9km

新湯 950m…新湯富士 1184m…大沼…小太郎ヶ淵 590m…明賀屋本館 600m

会費：29,000円（会よりバス代補助として30,000円がでます）

宿泊 13,900円、夕食・昼食時飲み物 1,900円、2日目入浴・昼食 2,000円、

バス代 10900円（30名参加で試算）、バス運転手宿泊 300円（30名参加で試算）

装備：防寒具、雨具、帽子、手袋、スパッツ、登山靴、軽アイゼン、ストック、ザック、

ザックカバー、テルモス、タオル、着替え、行動食など

（飲み物とお肴は適度に持参をお願いします）

幹事：CL 安彦秀夫 TEL：090-5827-0571 SL 安田甚二、嶋本道子、赤塚義政

メモ：

① 雪上ハイクですが、装備（特に防寒対策）をしっかりと行えば、どなたでも参加できるコースを企画しました。持ち物・装備については、例会などで更に説明します。

② 『鶏頂山』は往復ですので、山頂まで行かなくとも良い人向けに、途中で早めに引きかえし、バスで登頂組を待機するコースの設定も考えています（現地判断可）。

『塩原自然歩道』は、スタート地点（新湯）までバスで行き、最初は約200m登りますが、その後は基本的に下りのコースで、1958年、日本で最初に整備された歴史ある自然研究路です。是非、皆で歩きましょう！

③ 宿は団体予約をしており、次のサービスがあります。

1名につき、ビール中瓶1本・日本酒お銚子1本。5名ごとに、焼酎720ml1本

④ 宿泊は、30名（3名×10室）で仮予約済みです。

秘湯の宿に泊り、「会員相互の懇親」と「簡単な雪上ハイクを多くの会員と共に楽しむ」ことを目的に企画しています。「雪山はチョット…？」と悩んでいる人にとっては、雪山入門コースなので絶好のチャンスです。是非、多くの参加をお待ちしています。

## 県連関係予定行事

☆10月18日～20日 韓国/北漢山と冠岳山 紅葉ハイキング4日間

☆オンライン講習会

第3回 10月24日(木)19:00～21:00

「安全・快適・健康的な生涯登山を実現するための3つのポイント」

☆11月16日(土) 事故防止経験交流集会

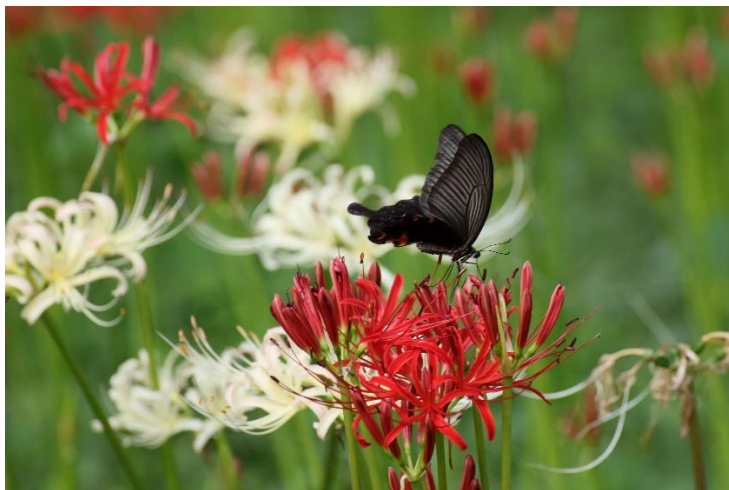
詳細は決定次第、お知らせいたします。

\*「2025年労山カレンダー」の注文は羽鳥まで 1,000円 締切：10月例会

### 秋の散策のお勧め

清水利夫

村上緑地公園の彼岸花 10月上旬頃迄が見頃の様子です。 (2024. 9. 24 撮影)



## 穂高連峰「ジャンダルム」登攀

富永 好郎

若い頃（四十数年前）、奥穂から初めて見たジャンダルム、「いつの日か登りたい・・・」憧れは年月と共に忘れ去られていました。

2年前、対面の笠ヶ岳からジャンを望み、“憧れ”が甦りました。然し、憧れだけで登れる山ではありません。トレーニングと経験を積んでジャン登攀の時を迎えました。

### 【7/29】上高地・・・岳沢小屋（2時間）

大型の台風10号が九州へ近づく中、長野県山岳ガイドの稲越利夫さんと相談、「北アルプスは、影響が低い場合が多い・・・岳沢まで行って判断・・・」上高地から雨の中、岳沢小屋泊

### 【7/30】岳沢小屋5:30・・・天狗沢・・・天狗のコル8:00・・・豊岩尾根の頭・・・コブ尾根の頭・・・ジャンダルム9:30・・・ロバの耳・馬の背・・・奥穂高岳10:30・・・穂高山荘11:00（5時間半）

深夜は激しい雨音が聞こえたが、早朝は雨もあがり高曇り、天気予報も終日曇りで登攀開始。天狗沢、先ずはお花畑が続く（第一～三）、いよいよガレ場へ入ると、全てが浮石、足元の石が90度傾き転倒（肘を打つ）、これで慎重“スイッチ”が入る。落石で死亡事故も多い急勾配を足元がぐらつきながら避難小屋跡へ着く。

天狗のコルからは、竜の背中のような尾根を登り（下り）、霧（雲）の中、視界が悪く、足元の石が滑る。コブ尾根の頭で、ジャンの全容が霧の中ボォーと見える。ジャンの山頂からは何も見えない。人っ子1人いないし、エンジェルもいない（ネット情報によると、落下したらしい）。いよいよ奥穂までの核心部、ロバの耳の飛驒側をトラバース、クサリはあるが足元が見えない。馬の背はナイフエッジながら短く、三点保持で怖さは感じなかった。奥穂高岳がいきなり現れて、山頂の祠に到着。

穂高山荘までの下り、北側が晴れ、涸沢岳・北穂高岳・笠ヶ岳がクッキリと姿を現す（ジャンは見えない）。穂高山荘で昼食後、一人でゆっくりと涸沢岳まで往復する。山頂からは、裏銀座の山々、黒部五郎岳・薬師岳・三俣蓮華山・水晶岳・・・暖かい日差しを受けて見渡す。

### 【7/31】穂高山荘5:45・・・涸沢・・・横尾・・・徳澤園・・・明神・・・上高地12:30 嘉門治小屋でいつもの、イワナの塩焼き・ざるそば・ビールで無事下山に感謝。 台風10号の影響で終日合羽、靴まで水浸し、あずさも遅れるが無事帰宅。

## 【感想】

初めてのバリエーションルートへ挑戦でした。視界が悪く、足元が滑り通常よりリスクの高い条件でしたが、個人ガイドのサポート無しには登頂できたか？達成感とやり残し感が混在しています。一層レベルアップして再チャレンジしたいと思います。



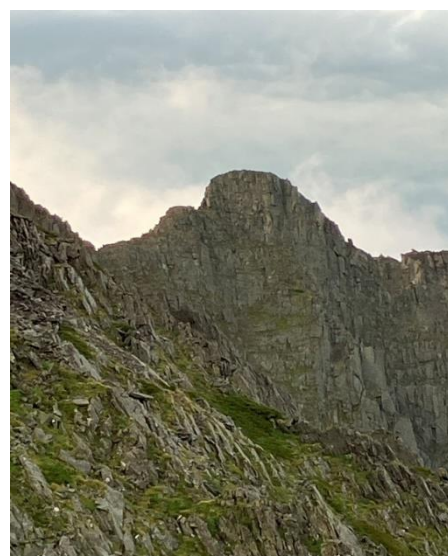
天狗沢のガレ場 全て浮石



ジャンダルム山頂 視界無し



馬の背 奥穂側



ジャンダルム全容(翌朝撮影)

## トムラウシ山・十勝岳・大雪山（旭岳）山行報告

日程；2024年8月1日（木）～6日（火）5泊6日

参加者：河野（ソロ）

8/1 成田空港—新千歳空港—（レンタカー移動）—トムラウシ野営場 泊

8/2 トムラウシ野営場—短縮コース登山口…カムイ天上…前トム平…トムラウシ山。往復—トムラウシ野営場 連泊

8/3 トムラウシ野営場—（移動）—白銀荘キャンプ場 泊

8/4 白銀荘キャンプ場…雲の平分岐…昭和火口…十勝岳往復…白銀荘キャンプ場—（移動）—旭岳青少年野営場 泊

8/5 旭岳青少年野営場—ロープウェー—姿見駅…旭岳石室…旭岳…姿見駅…ロープウェー—旭岳青少年野営場 連泊

8/6 旭岳青少年野営場—（移動）—旭山動物園—（移動）—新千歳空港—成田空港

北海道山行は、前線通過、気圧の谷の影響を受け、雨降りは1日だけでしたが曇天続きで天候には恵まれませんでしたが。計画通りに百名山3座を踏めたものの山頂は全てガスの中。3座目の旭岳でようやくガスの切れ目から、雄大な景色を垣間見ることができました

一座目のトムラウシは、短縮コースとはいえ、標高差1200m往復するコースで長くて厳しかったです。心配されたコマドリ沢の雪は無かったのですが、トムラウシ公園を過ぎたあたりから、左脚太ももの内転筋の痙攣がはじまり、芍薬甘草湯を内服、しばらく休憩、回復してから歩きはじめました。長いコースなのに最初からペースをあげたこと、荷物軽減のために水を1.5リットルしか持たず、吸水が不足したことが反省点です。休み休み何とか登頂を果たしましたが、案の定、周囲は真っ白。晴れていたなら、どんな景色が見えたのだろうと残念でした。下山途中、水が切れたのでコマドリ沢の水場で携帯浄水器を使い、大量に吸水しました。



1日において、白銀荘キャンプ場から、十勝岳に向かいました。夜半から結構な量の雨が降りましたが、予報を見て止むのを待ってからスタートしました。快調に歩けましたし、体力的には、トムラウシに比べれば、全然余裕でしたが、高度を上げるにつれ、強い雨風にたたかれることになりました。そしてゴールは、又も視界=0。ガイド山行の若い女性グループが居合わせましたが、無言のまま引き上げていく姿がいたわしかったです



5日目、最後の望みをかけてロープウェー姿見駅から、旭岳を目指しました。この日も見上げる山は雲の中でした。ところが地獄谷を通過したあたりから、山麓の木々や岩が日の光に輝きはじめ、山頂では一瞬、黒岳方面のガスが消え、大雪山系の雄大な景色に出会うことができました・・・カムイ（神）さま、ありがとう！



今回の宿泊はすべてテント泊で、利用した3つのテン場付近には、いずれも立派な温泉がありました。中でも十勝岳白銀荘の吹上温泉には、道内一の広さを誇る露天風呂がありました。

十勝岳を望める開放感が素晴らしく、蒸し暑い日でもありましたので東屋のベンチで仰向けに寝たりして心地よい裸の時間を過ごすことができました。温泉につかったことで3座とも万全な体調でのぞむことができました



それにつけても感じるのは、北海道は昔ほど涼しくない、ということです。30年前に5年間、札幌で暮らしていましたが、冬に寒さを感じることはあっても夏に暑さを感じたことはありませんでした。羽田や成田から飛行機で千歳に降り立つと、まず、最初に涼しさを感じる筈が、昨夏も今夏も感じませんでした。最終日に時間が余ったので旭山動物園に寄りましたが、檻の中のオオカミも茂みにもぐって暑さを凌いでいる様子でした。夏休みで多くの子連れ家族で賑わっていましたが、自分は、早々に退散し、自動販売機で冷えたコーラを買い、車に戻りました



千歳でレンタカーを返し、飛行機の出発まで時間があつたので、空港ビル内の温泉を利用しました。汗を流してから施設内の食堂で生ビールとジンギスカン定食を戴き、退館後、土産に『白い恋人』とハスカップのジャムを購入し、ザックに詰め込んでから搭乗口に向かいました

無事に山旅を終え、又一个、最高の思い出ができました（終）

## 白山山行報告

日程；2024年8月16日（金）～18日（日）、前泊1泊2日

参加者；河野他1名

8月16日北陸新幹線で金沢入り。夕食後、松任駅移動、ビジH泊

17日5:00発登山バスとシャトルバスを乗り継ぎ登山口の別当出合へ  
砂防新道・・・甚之助小屋・・・黒ボッコ岩・・・室堂ビジターセンター泊

18日早朝、御前嶺にてご来光・・・大汝嶺・・・室堂、下山。市ノ瀬で  
温泉入浴後、バスにて松任、金沢駅経由で帰宅。

移動日前日に、台風4号が直撃。東海道新幹線運休、東北、上越新幹線一部計画運休の状況下、北陸新幹線は通常運行。2日目以降も、天候に恵まれラッキーな山行となりました

2日目御前嶺でのご来光は、山登り経験初の貴重な体験でした。<sup>しらやまひめ</sup>白山比咩神社の神職が立ち会い、白山の由来を解説しながら、きれいなお日の出様を拝み皆で＼(^o^)/三唱しました





1 2 曲がりのお花畑が見事でした。つづらおりの登山道の左右一帯にひろがる高山植物の群落。狭谷から湧き上がるガスがミストとなって生育に適した環境を作り出しているのでしょう。北岳や白馬岳のそれとも趣きの異なるお花畑、まさに癒しの楽園といった風でした。(シナノキンバイ・ハクサンフウロ／キオン／シモツケソウ／ミヤマダイヤモンドソウ／タカネナデシコ／ハクサンボウフウ／ハクサントリカブト／ダイヤモンドソウ／タカネキンポウゲ／イワギキョウ・タカネコウリンカ／チングルマ／イワツメグサ)



## 西穂高岳ソロテント泊

日程 9月6日(金)～8日(日)

メンバー 岡田(記)

昨年は台風で3回延期になり(モンベルのツアー)夏山季節が終わったため行けなかった西穂高岳へ、今年はソロのテント泊で行ってきました。

西穂高岳はロープウェイを降りたらコースタイム1時間20分で西穂山荘(テント場)に到着すること、西穂山荘から西穂高岳山頂まではコースタイム2時間45分で到着すること、昨年から今年にかけての1年間で奥穂岳、赤岳、両神山など経験をしたこと、初心者のテント泊をするにはちょうど良いことなど、検討を重ねて憧れの西穂高岳へソロテント泊で行くことに決めました。

1日目 9月6日(金) 晴れ

5:30 新穂高ロープウェイ第3無料駐車場到着するも満車のため、鍋平駐車場を案内される。しょっぱなからやっちゃまった感!駐車場からロープウェイ乗り場まで1時間歩く覚悟をして駐車場に向かう。6:00 鍋平駐車場到着。鍋平からロープウェイ乗り場まで調べると第二ロープウェイ乗り場まで徒歩10分!ロープウェイの乗り継ぎ場所にある駐車場だったことに大ラッキー!!!

7:00 鍋平駐車場出発、7:10 第二ロープウェイ乗り場駅到着。ロープウェイ始発は8:45、前から8番目の場所取りができる。

8:45 ロープウェイ始発に乗る。ロープウェイ山頂駅で1時間ほど高度順応のためゆっくりコーヒータイトにする予定だったが、ロープウェイ内テント泊装備の人が多かったためテント場がいっぱいだったら泊まるどころがなくなるからまずい!

9:00 ロープウェイ降りたらソッコーで歩きはじめる。10:00 前に西穂山荘到着。テント場ガラガラ!無事に本日の寝床確保でほっとする。

テント幕営、夜中運転中のため睡眠が取れなかったので眠くなってきたので12時頃から昼寝をして目が覚めたら17時過ぎだった。睡眠不足を解消できて一安心。暗くなる前に夕食にする。軽量化のため尾西のレトルトご飯とお湯を注ぐだけの味噌汁とコーヒーが夕食に。

熊出没による被害が怖いので、臭いが漏れない、臭いを出さないことに細心の注意をする意識を持つ。19:00 寝る。相変わらずどこでも寝られるんだな。昼寝をしたにも関わらず秒速で寝られた。寝る前にテントのチャックを開けて夜空を見上げると満天の星が美しかった。

9月7日（土）晴れのち曇り

4:30 目覚まし時計の音をテント場のため小さくしていたら音が小さ過ぎて気づかず予定より30分遅く起きる。朝食を食べ、5:40 アタックザックを背負い軽身でテント場を出発。ガッスガスの眺望ゼロの出発時から西穂丸山に到着する前にはあつという間に遠くの山々まで視界が広がった。

念願の西穂高岳！とは裏腹にただ淡々と歩きながらも登頂の無事を祈る気持ちで歩みを進める。5:50 西穂丸山 西穂丸山を過ぎると「独標に登っても下りられない人がいる」という話を思い出しながら6:45 独標到着。「この先か、ちょっと怖いルートは。散々色々な人から怖いよ怖いよ」と聞かされてきた。怖かったら迷わず戻ろう。しかし一方では「一般ルートなら行けるよ」という声もあちこちで聞いた。とにかく安全第一で行こう。

7:40 ピラミッドピーク到着。チャンピオンピークには気づかず8:50 西穂高岳到着。無事に山頂に到着する。到着間もなくガスってきて眺望がなくなる。眺望がなくても達成感で満足しているので全く問題なし。結局10:10 まで山頂にいたがガスは晴れず下山スタートする。

下山になると下山後のアイスクリームや温泉が頭をよぎる。集中力がなくなるとこういうことか。事故は下山時に起きる。下山時こそ緊張感を持たないとな。

アイスクリームや温泉は無事に下山するまで考えてはいけない。アイスクリームと温泉は封印する。いつか事故が起きてしまう。これは徹底しよう。

10:34 チャンピオンピーク 11:30 独標 独標に溢れるばかりのすごい人。なかなか下山できそうもないので下山できるタイミングまで休憩する。13:00 西穂山荘到着。

無事に到着下山できてほっとする。このまま撤収して帰宅しようとも思ったが、せっかくなのでテント泊をはじめたばかりなので、山の中にいようと撤収せずに、名物の西穂ラーメン味噌味を食べる。

あー、西穂高岳登頂できて本当に良かった。

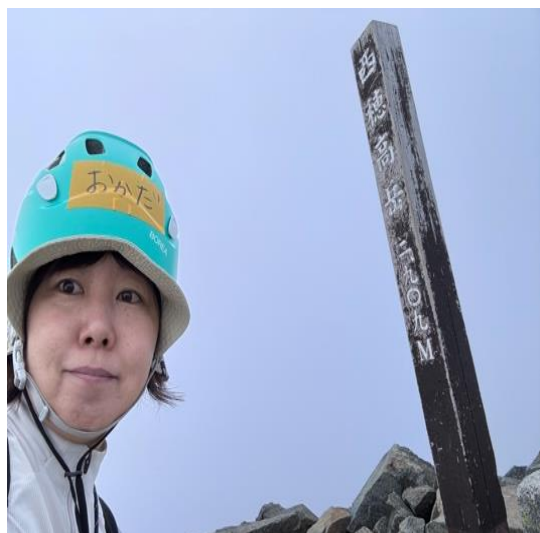
9月8日（日）晴れ

4:30 起床 朝食 6:00 テント撤収 8:45 ロープウェイ始発のため、丸山まで散歩する。お天気が良く眺望も良い。西穂丸山から独標が見える。丸山から見た独標は「あんなところ危ない！怖い！」と思ってしまう。確かに危ないな。

ロープウェイに乗り第二ロープウェイを降りる。降りたところに西穂山荘の支配人がいた。「夏にテレビに出ていたのを見ました」と、お伝えした。テントでも何度かお話しをさせていただいたので、次回来た時に覚えていてくれたらいいな。（お客さんたくさんいるから覚えている訳ないが。）

第二ロープウェイを降りたら駐車場まで徒歩10分。無事に下山する。

帰りはひらゆの森の日帰り温泉に寄って、朝市にあった食べるホオズキと米シェイクと塩おむすびを食べる。  
満喫した3日間になりました。



## 石尊山 (1667.8m)

日程：9月7日(土)

参加者：五十嵐、菊池、伏見、桐生(記)

会山行で6月に計画されましたが、中止になった山です。連日の猛暑でも日帰りで行ける涼しい山と期待して行ってきました。

新鎌ヶ谷→松戸→上野 6:58(新幹線あさま601号) 8:04 軽井沢着。会山行の計画では、しなの鉄道でしなの追分駅へ。駅から45分歩いて追分登山口となっていました。時間短縮で軽井沢駅からタクシーに乗りました。登山口まで4400円でした。

8:45 出発。樹林帯で傾斜もゆるく歩きやすい登山道ですが、今の季節お花も咲いていないし、紅葉にも早くて変化がなく少々退屈な時間をダラダラと歩く。登山道の近くを濁川がゴウゴウと流れる音が近づいたら滝にでた。赤滝とも血の滝とも地図に書いている。水量も多く見ごたえはあるが、不気味な感じだ。登山道は滝の上に橋があり、上からも滝を覗ける。涼しい風が渡ってくる。



血の池は枯れていたが、おはぐる池からは冷たい湧水が出ていた。そこから少し急登はあるがほとんどゆるい傾斜で山頂に到着。目の前に大きな浅間山が見えるが、あいにく山頂付近がガスの中だった。12:00~12:45 広い山頂広場でのんびり昼食。

下山時に立ち寄るか相談していた、座禅窟はカットして、ひたすら樹林帯を歩き、15時に登山口に到着。

休憩時間1:30を入れて6時間30分の行動時間でした。そこからさらに歩き、信濃追分駅まで50分の道路歩きが辛かった。



## 大雪山・赤岳 2078m・黒岳 1984m・藻岩山 531m

日程：2024年9月11日（水）～9月14日（土）

参加者：安田・菅谷・嶋本・江崎（記）

### 9/11 天気晴れ

成田～札幌千歳空港～札幌～旭川～層雲峡

JR. 旭川から路線バスで2時間、途中石北線上川駅で20分程休憩停車、層雲峡に16:30に到着。宿泊は歩いて15分ほどの層雲峡ホテル。食事は持ち込み（コンビニ弁当）お湯、珈琲、お茶あり。風呂なしシャワーのみ。千葉からの遠い旅路、早めに休む。

### 9/12 天気晴れ

層雲峡～銀泉台～赤岳～小泉岳～白雲分岐～北海岳～黒岳～黒岳7合目～層雲峡  
ホテル前からバスで銀泉台へ。7:10出発。山の斜面は紅葉が始まり美しい。緩い坂や急坂をゆっくり登り赤岳着10:00、天気にも恵まれ大雪山の雄大な景色を楽しみながら。小泉岳～白雲分岐～北海岳へとゆっくりと登り下りを繰り返しながら、じじばば4人は歩く。北海岳から黒岳に向かうルートには沢の渡渉点が2～3カ所あり、今回は水量が少なく難なく通過。黒岳14:30着。リフトから登って来た登山客に記念の写真をパチリ！7合目のリフトまで1時間程15:30到着。良く歩きました。休憩を含み8時間。歩数計35,189歩でした。健脚の仲間感謝です。

### 9/13 天気晴れ

層雲峡～旭川～札幌

層雲峡からバスで2時間、旭川から電車で札幌まで。予約したホテルを探しながら札幌の街をウロウロ、やっと見つけたホテルでひと休み。夜は札幌で美味しいという人気の回転寿司トリトンに・・・待つこと1時間余り、美味しいお寿司に大満足。お皿が何枚になったでしょう！

### 9/14 天気晴れ

藻岩山 旭山記念公園登山口から涼しい樹林帯をゆっくり登る。藻岩山は札幌市民の身近な山ということで多くの市民が次々と登ってくる。北の街の山なので高山植物もチラホラ見つける事が出来る。登り始めて2時間山頂に着く。山頂からの眺めは素晴らしい！眼下には札幌という大都会の街並みが家々が・・・遠くに目を向けると北海道の山々が一望に見え感動！

山頂駅からロープウエーで下山。市電に乗り札幌駅に向かう。北海道山行の終盤。千歳空港から成田へ。思い出多い4日間でした。



# 流山ウォーキング

日 程：2024年9月14日（土）

参加者：24名

鈴木隆司



9月14日（土）、暑かった。日陰を探して歩きました。

流山は、今まで通り過ぎるだけで初めて。ローカル鉄道流鉄流山線に乗り、今回歩いた流山本町は、江戸時代より江戸川の水運で栄え、又みりんの発祥地、神社仏閣が多いレトロな町でした。

一茶双樹記念館は、小林一茶が数十回この地を訪れ、その記念として開設したとの事。

〈めでたさも中くらいなりおらが春〉

〈雪とけて村いっぱいの子どもかな〉

私が唯一知っている一茶の句です。

暑い中私たちと歩いていただいたガイドさん、ありがとうございました。

## 流山ウォーキング

日程：9月14日（土）

参加者：24名 加藤、八巻、三橋、安彦、手塚、松本、鈴木、村上、前田（延）、村田、四元、山脇、梅田、山口、笹、伊藤、吉留（と）、吉留（政）、西堀、池谷、畑中（桂）、猪狩、間瀬、前田（節）…（記）

山の会の皆様、お久しぶりです。2年ぶりに参加させていただきました。

流山…というと春、満開の桜並木やこいのぼりが泳ぐ運河沿いを散歩したことがあるけど、筑波山や宝篋山などに行くとき電車の乗り継ぎに通り過ぎるぐらいで、ほとんど知らない町でした。つくばエクスプレス線が開通し、「流山おたかの森」駅ができてからは新しい街づくりが進み、高層マンションや大規模商業施設などが建ち、「母になるなら流山…」と言われ若いファミリーの町という感が強かったです。江戸時代からの街並みが残り、歴史が偲ばれるというのを楽しみに参加しました。

流鉄流山線の馬橋駅からレトロな感じのかわいい車両で平和台駅へ。ここからは2班に分かれ、ボランティアガイドが2名ずつ付いてウォーキングが始まりました。コースは、陸軍糧秣廠跡（りくぐんりょうまつしょうあと）～赤城神社～光明院～茶双樹記念館～まちなかミュージアム～庚申塔～新撰組本陣跡～閻魔堂～常与寺～浅間神社～広小路と炎天下の中歩いて約2時間半。

猛暑続きの一日、とにかく暑かった！日傘を差しても日陰を選んでも汗びっしょり。コースの後半、常与寺に着いたときボランティアガイドの一人の男性が、座り込み具合が悪そう。そのうち座っているのも辛そうで石の階段に横たわってしまいました。熱中症では？とすぐ救急車を呼び、我々は交代したガイドさんと次へと進みました。最後に茶豆欄（レストラン貸し切り）で会食。涼しい所



寺田園旧店舗（国登録有形文化財）  
今は流山万華鏡ミュージアム

でゆっくり休めたので汗も引き、元気回復。解散の後、見逃した万華鏡ミュージアムを見て、清水家でお土産に最中を買って帰りました。

あとで聞いたら、熱中症のガイドさん、その後回復されたとのこと、ほっとしました。

担当者・ご同行の皆様、お世話になりました。2年ぶりに皆さんの仲間入りができて、うれしかったです。ありがとうございました。

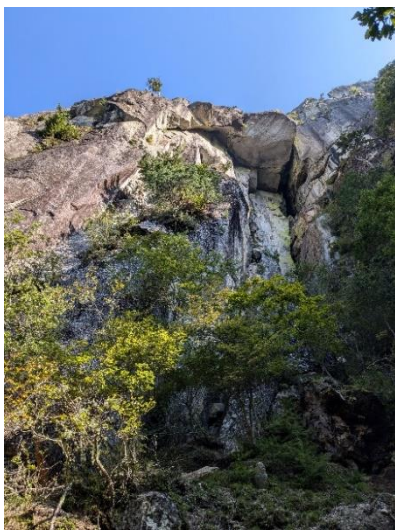


## 「JWAF フェス in みずがき」に参加して

間瀬 芳枝

9月7日（土）～8日（日）

安彦会長からのメールを見たとき、『瑞牆山』が目飛び込んで来て、行きたいと思った。しかし案内を読んでいくと年齢制限があり、「若者向けのイベントかー残念！」とあきらめた。その後、年齢制限が外れて参加できることになったが、若者向けのイベントに参加して、場違いではないか、翌日のハイキングカンマンボロンもとても魅力的だったが、長らく岩山には行ってないし、若者と一緒に岩山に登れるだろうかと不安な要素が出てきて、悩んだ。それからカンマンボロンのコースをネットでいろいろ調べて、登れると判断して、申し込んだ。



1日目は世界難関のワイドクラックを登った北原友哉氏の講演で実際の映像を交えてとても興味深い話だった。そこへ至るまでの経緯や出会った人々、登るために毎日どんなトレーニングをしているかなどなど、岩登りといってもこんなに多くの種類があることを知った。この日、全国から集まった若者のほとんどが、岩や沢登りを専門にやる人たちだった。その後のディスカッションも懇親会もとても盛り上がり、若い人たちの意見もたくさん聞くことができた。遠く離れた県との交流はほとんどないので、良い機会であった。

2日目はワイドクラックの体験へほとんどが行き、カンマンボロンのハイキングを希望したのは私一人だった。篠塚優さんと全国理事の方数名と地図にならないルートに登ったが、岩山の緊張感、ワクワク感がよみがえり、とても楽しかった。カンマンボロンとは見上げるような7mの花崗岩の岩盤に刻まれた梵字で弘法大師が刻んだとされている。コロナ禍で山へ行けなくなり、その後再開して、低山や近場のハイキングに変わっていったが、今日のこの充実感と楽しさ、景色の素晴らしさ、全国の若者との会話を通して、参加して本当に良かったと思った。7時間半の歩程だったが、普段通り歩けた。他県の会の様子なども聞いてとても有意義な2日間だった。是非年齢を問わず多くの方に参加していただきたいと思った。年齢を重ねても継続していれば山はまだまだ歩けると思います。



## 猛暑日に流山を歩く

羽鳥健一郎

初めての流山線駅の名は妙に新鮮東の間の旅  
江戸川の土手にひっそり渡し跡みりんの町と江戸を繋げし  
多羅葉の葉の裏側に名を刻み葉書の語源確かめてみる  
流山一茶双樹の親交の縁ゆかりの部屋に暫し佇む  
流山の地名伝説守り継ぐ赤城神社の巨大注連縄しめなわ  
町中の富士塚に立ち振り返る去年に登りし富士山頂を



## 飯豊山～大日岳

嶋本 道子

2013年8月14日～8月17日

東葛山の会に入って三年目、声をかけて頂き飯豊連峰縦走に同行させて頂きました。

8/14 最初の計画では川入から入る予定でしたが、台風の影響で通行止めになり白川温泉の白川荘に前泊しました。

夕食で米沢牛が出たのですが、明日からの事を考えると緊張して美味しさを感じなかった事を思い出します。

8/15 白川荘さんで夜明け(4:00)と共に大日杉登山口まで送ってもらい登山開始。この日は暑くて暑くて、持参したペットボトルの水もすぐになくなり、途中の水場で補給しながら歩きました。切合小屋まで頑張って上り眺めの良い所で昼食、宿で作って頂いた笹餅の美味しかったこと、きな粉の味が忘れられません。

丁度、お盆の時期でしたが人も少なく辺りはマツムシソウが咲き、きれいでした。

本山小屋に14:00頃到着。管理人さんに「イイデリンドウが咲いているので飯豊山まで行った方が良い」との事、何しろクタクタ明日通るので「その時に」と言ったのですが朝は花が開いていないので、今すぐ行くように説得され頂上まで往復して来ました。小さくて可愛らしい！！

本山小屋のビールは350mlで¥1000 缶も持ち帰りなので我慢！

小屋でもルールが厳しかったのを覚えています。

8/16 今日は御西小屋にザックをデポして、飯豊連峰最高峰の大日岳まで往復しました。

一日を通しておおらかな起伏のきれいな草原とたくさんのお花を眺めながらの気持ちの良い稜線歩きでした。

8/17 4:50に梅花皮小屋を出発、予定では梶川尾根を下りるつもりでしたが門内小屋の管理人さんに登山道の様子をたずねたところ、荒れているので少し先の丸森尾根を下りた方が良いとアドバイスされ飯豊山荘に10:45頃到着しました。

下山口手前の岩場では足がガクガクして思う様に歩けない、初めての経験でした。とにかくゆっくり怪我のないように心がけました。

飛ばしすぎが原因だったのでしょうか。

米沢から夜行バスで早朝上野に着きました。

今から11年前のことですが、何から何までお世話になりました。

誘ってくださったIさんには感謝しております。ありがとうございました。

11月は猪狩さん、12月は羽鳥さんです。前月20日を目安に加藤までお願いします。

ちょっと一言

## 酷暑雑感

梅田尚志

今年の夏は、あらゆる形容詞が意味をなさないほどの長く過激な猛暑に襲われた。コロナの再発や感染症の脅威が居座り、毎日のようにどこかでゲリラ豪雨が頻発する。関東はすでに亜熱帯なのだ。猛暑で外出を控え、山行は勿論ゴルフもすっかり縁遠くなってしまった。涼しい場所で闘うゲーム、老人の嗜みとしか思われていないが囲碁がネットで楽しめる。サークルの数人のゴガタキと日時を決めて対局する、ありったけの脳味噌を絞るのだ。似たような棋力、丁度よい手合いで暑さを忘れて没頭する。

少し嬉しいニュースがあった。一力棋聖が国際大会で優勝した。19年振りであったが、実感はもっと長い。中国・韓国に後塵を拝してきた失われた30年はここにもあった。かつての日本は囲碁王国であった。台湾、韓国、中国や欧米からも数多くのプロ棋士が日本に学びに来ていた。そんな隆盛の時代は遥か昭和の昔になってしまっていた。

登山は囲碁将棋といったゲームとは対極にある趣味ではあるが、勝ち負けや順位に拘らないところがよい。また自然の中で絶景と旨い空気を味わうことや、体力の限りを尽くして登頂を目指す気合、そして達成感や時には挫折も人生の糧となってくれる。さらに山仲間との打ち解けた団欒が一層楽しさを増幅させてくれる。加齢とともに足腰が覚束なくなっているが、年齢に応じた楽しみ方もまた見つけられるだろう。涼しくなって絶好の季節に、さあ山へ出かけよう。



ちょっと一言

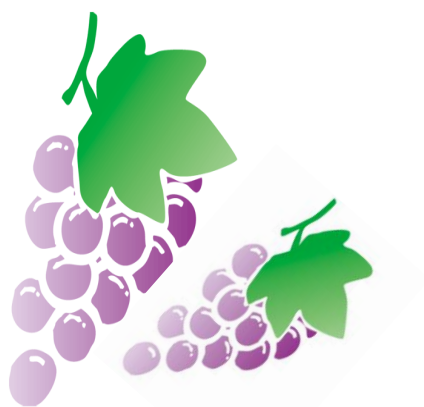
山脇多美

少し前の話になりますが、警察関係から詐欺防止の為の電話に取り付ける器具を頂きました。掛かってきた電話の内容を録音するというものです。

早速、家の電話に取り付けました。

知り合いからの電話ではこちらが話す前に「詐欺防止のために通話内容を録音しますのでご了承ください」とメッセージが流れ相手は笑っています。こちらも「すいませ〜ん！」って感じで・・・何となく相手に悪いような感じがして、結局すぐ取り外してしまいました。

最近ほとんど携帯で用を足し固定電話を使わなくなったような気がします。我が家は転勤のため良く電話番号が変わりました。流出している名簿関係も大丈夫かなと思ったりしています??詐欺の人も又次の手を考えてくるのでしょうね。でも実際被害に遭ってる人も沢山いるので気をつけなければいけないと思っています。



11月号の担当は前田節子さんと赤塚さんです。

(10月20日を目途に柳 嗣穂宛て原稿をメールにて送付願います。)

(ヤナギ ツギホ norinatsu1130@gmail.com)

## 編集後記

7月初旬猛暑の中、吉備路の旅に行きました。初日は観光ボランティアガイドの女性の案内で備中高梁市内巡り。高梁市は静かな趣のある城下町で、「男はつらいよ」など度々映画のロケ地になっています。私が熱心な寅さんファンだと知ると、撮影場所になったお寺（口笛をふく寅次郎）の和尚さんを紹介してくれ、撮影当時の写真を特別に見せてもらいました。37℃の猛暑の中、無料で丁寧に案内して下さったガイドの方には感謝の気持ちでいっぱいです。翌日は備中松山城へ、長く重厚な石垣が連なり、予想を越える立派な山城でした。登城途中、昨日のガイドのご主人が松山城の資料を渡しに、わざわざ待っていてくれました。後日お礼の手紙を出したら丁寧な返信が届き、高梁市の温かく誠実な人たちとの出会いも忘れられない旅になりました。日本三大山城の一つである備中松山城は、天空の城としても有名です。霧の出る季節に、雲海に浮かぶ姿を見にまた訪れてみたいと思います。各地でご活躍のボランティアガイドの皆さん、本当にご苦労様です。（さ☆る）

先日、知人から格安で乗れるとの話があり、初めて妻とクルージングをした。格安のためかバルコニーなし、窓なしの部屋で6か所の寄港地を11日間かけて巡る予定であった。しかし、生憎台風10号の影響で寄港予定の神戸、高知、広島は暴風域で危ないためすっ飛ばし、台風の暴風圏外のお尻にくっついて4日間どこに行くのか分からないまま海上を迷走し、やっと船を受け入れてくれたのが宮古島だった。その後は釜山、佐世保、清水とまわったが、初クルージングが正にミステリーツアーとなってしまった。 T.Y



### 原稿作成要領

用紙設定 A4

余 白 上下左右 30mm

フォントサイズ MS明朝 12P

※原稿締め切り、毎月20日までをお願いします。

<担当>山岡、桐生

**連名でお願いします**

手書きも大歓迎です。会報部員に渡して下さい。

発行日 令和6年10月1日

発行者 東葛山の会

会長 安彦 秀夫

編集 会報部